

6月下旬～9月中旬の各地区の活動

今年の夏は、遅れた梅雨明け、台風の襲来など、イベントの延期などの対応に追われた地区もありましたが、恒例となっている夏のイベントがたくさん開催され、コロナ禍以前の賑わいを見せました。

地区	活動内容
世田米	7月 委員会議 8月 世田米いきいき夏まつり 9月 役員会議
上有住	7月 役員会（楽しみ部会） 役員会（チャレンジ部会） 民俗資料館前の整備 9月 役員会（楽しみ部会） 役員会（賑わい部会）
下有住	6月 褒下山鉱山および遠野住田風力 発電所の見学会 7月 蕎麦の種まき 8月 おたのしみ夕涼み会 9月 役員会

地区	活動内容
大股	6月 買い物ツアー 7月 3 B体操教室 買い物ツアー 8月 買い物ツアー 役員会 9月 買い物ツアー 子ども縁日 3 B体操教室
五葉	7月 一関市飯倉下地区からの視察受 入れ 8月 五葉地区盆踊り 役員会 9月 梅の木植樹地・桜並木・公民館 周辺の環境整備



地域のイベントで活躍する中高生

各地区では、この夏も、中学生・高校生が運営や準備の手伝いに参加し、イベントを盛り上げる頼もしい存在となりました。下有住のおたのしみ夕涼み会では、統合後の住田中学校から有住地区の生徒だけでなく、世田米地区からも手伝いに参加してくれました。世田米いきいき夏まつりでも、ボランティアに志願して手伝いに来てくれた町内外の中学生が運営を支えました。大股のミニえんにちでは小さな子でも楽しめるよう中学生の優しいサポートもありました。

また、これらの行事では町内の高校生もブースの運営や、案内看板の制作に参加するなど、中高生は地域のイベントを支える重要な担い手になっています。面倒見が良く頼もしい中学生・高校生の姿を追うように、小学生たちも将来は地域の活動を担う存在になってくれることを期待しています。



下有住のおたのしみ夕涼み会を手伝う住田中学生



住田高校アート部が制作した世田米いきいき夏まつりの看板

住田町「小さな拠点づくり」の活動を伝える 五つ星ニュース 第7号 2024年9月 発行

【発行】

一般社団法人邑サポート
住田町世田米字本町 22-5
TEL 070-2021-6142

【編集協力】

住田町教育委員会
住田町世田米字川向 88-1
TEL 0192-46-3863

7月から8月にかけては、住田では夏の盛りを迎えます。各地区では、夏ならではの行事が目白押しとなりました。今年は梅雨明けが遅かったり、台風による大雨が続いたり、行事の日程を変更するなどの対応に追われた地区もありましたが、住田の夏を彩り、思い出に残る素敵なイベントがたくさん開催されました。

毎年恒例の行事となっている下有住のおたのし

み夕涼み会や、今年から名称を変えて広く集客を目指した世田米のいきいき夏まつりなど、小学生や中高生の夏のひと時を豊かなものにするために、地域の大人たちが一緒になって盛り上げていました。

コロナ禍以前のような賑わいが戻り、豊かな自然と人々の輪が感じられる住田らしい夏の光景がありました。



世田米いきいき夏まつり



下有住・おたのしみ夕涼み会

6月～9月の各地区の活動

★世田米いきいきづくり

世田米いきいき夏まつり

世田米の「ちびっこ夏まつり」は、今年は子どもたちだけでなく大人も楽しめる行事にしようと「いきいき夏まつり」と改称しました。運営には、中高生のお手伝いも加わり、大人と一緒に縁日を盛り上げました。

8月10日に開催したことで帰省してきた人たちの参加もあって来場者は昨年よりも多く、みんなで世田米の夏を楽しみました。



大人も子供も楽しめる出し物を増やし、例年より多い260名が来場



地元の中高生も運営ボランティアに参加した縁日

★スマイル大股

3B体操教室

3B体操は老若男女誰でも楽しめるように考案された健康体操です。スマイル大股では、健康増進と交流を目的に、3B体操教室を定期的で開催しています。

これまでに2回開催され、幅広い年代の方々が参加し、軽運動をこなしながら、交流が生まれました。今後開催予定とのことです。



室内で手軽にできる3B体操は年齢問わず楽しめます

大股ミニえんにち

大股ミニえんにちは、地域の盆踊りに代わる子供たちの楽しみづくりとして、昨年より開催されています。ヨーヨー釣りや的あて、かき氷などの店が並び、地元の中高生も運営に加わっています。夏に襲来した台風の影響により秋に延期しての開催となりましたが、わきあいあいとした大股らしい優しい雰囲気の中ミニえんにちとなりました。



小さな子でも楽しめるよう上級生もお手伝い

★下有住いきいき活動協議会

住田の産業の現場を見学

役員研修事業として、袋下山（ほろしやま）にある龍振工業の鉱山と、遠野市との境にあるグリーンパワー住田遠野風力発電所を巡りました。

これらの現場は人里から離れて普段は目にすることはありませんが、地域経済やエネルギーを支えていて、地域共生や環境配慮の取り組みも進められていることを学びました。



きれいな白色の石灰石を産出する鉱山（左上）
鉱山から大船渡まで通じるベルトコンベア（左下）
風車の大きさを間近に見る（右上）

★夢がかがやく上有住

民俗資料館前の整備

地区公民館の新築とともに、民俗資料館の前には広い空間ができたことで、当初は花壇作りが進められていました。近年は花植えをせず黒いシートで覆ったままになっていました。この度、美観を保つ方法として維持管理のしやすい砂利敷きにして今後の活用方法を検討しています。冬にはイルミネーションの設置が予定されています。



整備前：みんなで花植えしていました



整備後：砂利敷きにして手入れしやすく

★五葉地域づくり委員会

一関市飯倉下地区からの視察

中山間地域の個性を活かした取り組みの成果をあげているとして、令和5年に五葉地区は「いわて中山間賞」を受賞しています。この取り組みを学ぼうと、一関市花泉の飯倉下地区の皆さんがお越しになりました。

特産品づくり、郷土芸能、世代間交流など、人口は少なくてもい

きいきとしている五葉の活動から、飯倉下地区の活動のヒントを得たとのことでした。



五葉の地区の強みを生かした地域づくりの工夫を学ぶ

蕎麦の種まき

下有住が長年に渡り取り組んできた蕎麦を通じた交流事業。今年も種まきの季節がやってきました。地域の大人たち、小学生や中高生たちも参加し、世代を超えて交流しながら、「食」への関心を高める機会にもなっています。遊休農地だった畑に白い花が咲き、下有住の新たな風景になっています。



蕎麦になるまでの流れや種の蒔き方を教わりました



お盆過ぎには白い花が満開になりました



子供たちの「流しゼリー」を手伝う高校生

梅の木植樹地・桜並木・公民館周辺の環境整備

五葉地区の環境整備活動は、桜並木の植樹地、梅の木の植樹地、公民館周辺で行われ、およそ30名が参加しました。刈り払いや枝打ち、除草剤散布、草取りなど、自分でできる作業を率先して見出して、打合せもなく役割が自然と分担されていく姿に、五葉地区の日頃の結束力を感じました。

誰もができる地域貢献活動になっています。



それぞれが自分のできる作業を見つけて環境をきれいにす



刈り払い作業